

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	北日本医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 北日本カレッジ

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
介護福祉専門課程	介護福祉科 (R8年度入学)	夜・通信	84	7	
	介護福祉科 (R7年度入学)	夜・通信	1,798 時間	160 時間	
社会福祉専門課程	こどもマイスター養成科 (R8年度入学)	夜・通信	96	7	
	こどもマイスター養成科 (R7年度入学)	夜・通信	1,635 時間	160 時間	
商業実務専門課程	薬業科 (R8年度入学)	夜・通信	66	7	
	薬業科 (R7年度入学)	夜・通信	1,620 時間	160 時間	
(備考) 各学科ともに、令和7年度入学生については、「学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴う関係省令の整備等に関する省令」(令和7年文部科学省令第21号)の附則第2条に基づき、授業時数を用いている。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.kitakita.ac.jp/iryo/joho

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北日本医療福祉専門学校
設置者名	学校法人北日本カレッジ

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.kitakita.ac.jp/iryo/joho

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤 (学外)	元県職員	2025/6～2028/6	組織運営体制の チェック機能
非常勤 (学外)	株式会社役員	2025/6～2028/6	組織運営体制の チェック機能
非常勤 (学外)	株式会社役員	2025/6～2028/6	組織運営体制の チェック機能
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北日本医療福祉専門学校
設置者名	学校法人北日本カレッジ

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。											
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 学則で定めたカリキュラムに基づき、教務・授業担当者が、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等を定めた授業計画書(シラバス)を作成し、教務主任が取りまとめて管理する。 授業計画書(シラバス)は、年度初めに、ホームページで公表・開示する。											
授業計画書の公表方法	https://www.kitakita.ac.jp/iryo/joho										
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。											
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各授業科目の学修成果の評価を以下の通り設定し、厳格かつ適正に実施している。 1 授業科目の成績評価は、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 2 各科目の成績評価は、100 点法により 40 点以上を合格とする。 3 出席時数が本校規定時数の 3 分の 2 (介護実習、保育実習は 5 分の 4) 以上であること。											
3. 成績評価において、G P A 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。											
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価の客観的な指標を下記の通り設定し実施している。 ・指標の基準は 100 点法を 5 段階評定に換算する。 <table data-bbox="319 1612 638 1814"> <tr><td>100 点～80 点</td><td>5</td></tr> <tr><td>79 点～65 点</td><td>4</td></tr> <tr><td>64 点～50 点</td><td>3</td></tr> <tr><td>49 点～40 点</td><td>2</td></tr> <tr><td>39 点～ 0 点</td><td>1</td></tr> </table> ・成績指標は、全科目の合計点平均を算出してその分布状況を把握する。 上記の客観的な指標についてホームページで公表・開示する。		100 点～80 点	5	79 点～65 点	4	64 点～50 点	3	49 点～40 点	2	39 点～ 0 点	1
100 点～80 点	5										
79 点～65 点	4										
64 点～50 点	3										
49 点～40 点	2										
39 点～ 0 点	1										

客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.kitakita.ac.jp/iryo/joho
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 教育理念に基づき、学科に応じたディプロマ・ポリシーを定めホームページで公表している。卒業の要件は学則等で明示し、修業年限以上在学した者について、職員会議を経て、すべての教科課程の履修が認められた者について校長が卒業を認定する。卒業認定は、原則として卒業する学年末に行う。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.kitakita.ac.jp/iryo/joho

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	北日本医療福祉専門学校
設置者名	学校法人北日本カレッジ

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校にて閲覧可能
収支計算書又は損益計算書	学校にて閲覧可能
財産目録	学校にて閲覧可能
事業報告書	https://www.kitakita.ac.jp/iryo/joho
監事による監査報告（書）	学校にて閲覧可能

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
教育・社会福祉		介護福祉専門課程		介護福祉科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
2年	昼	84 単位	52 単位	22 単位	10 単位	0 単位	0 単位		
			84 単位						
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
60 人		24 人	0 人	3 人		20 人		23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学則で定めたカリキュラムに基づき、教務・授業担当者が、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等を定めた授業計画書（シラバス）を作成し、教務主任が取りまとめて管理する。 授業計画書（シラバス）は、年度初めに、ホームページで公表・開示する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各授業科目の学修成果の評価を以下の通り設定し、厳格かつ適正に実施している。 1 授業科目の成績評価は、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 2 各科目の成績評価は、100点法により40点以上を合格とする。 3 出席時数が本校規定時数の3分の2（介護実習は5分の4）以上であること。
卒業・進級の認定基準
（概要） 教育理念に基づき、学科に応じたディプロマ・ポリシーを定めホームページで公表している。卒業の要件は学則等で明示し、修業年限以上在学した者について、委員会

議を経て、すべての教科課程の履修が認められた者について校長が卒業を認定する。卒業認定は、原則として卒業する学年末に行う。
学修支援等
(概要) 1 クラスに対し担任＋副担任の２人体制で担当教員を配置。学生との面談を定期的に行い、個別にフォローしている。また、必要に応じて保護者面談や三者面談等を実施し、保護者と連携した学生指導に努めている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)	7 人 (87.5%)	1 人 (12.5%)
(主な就職、業界等) 特別養護老人ホーム等			
(就職指導内容) 担任、進路・学生指導の担当教員とキャリア支援室の担当者が連携し、職場見学や就職ガイダンス参加のサポート、面接指導、応募書類の作成方法等を中心に進路指導を行う。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 介護福祉士、レクリエーションインストラクター、日本赤十字社救急法救急員、認知症サポーター			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者面談等		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
教育・社会福祉		社会福祉専門課程		こどもマイスター養成科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	110 単位		46 単位	51 単位	13 単位	0 単位	0 単位	
				110 単位					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
80 人		37 人	0 人	6 人		23 人		29 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学則で定めたカリキュラムに基づき、教務・授業担当者が、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等を定めた授業計画書（シラバス）を作成し、教務主任が取りまとめて管理する。 授業計画書（シラバス）は、年度初めに、ホームページで公表・開示する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各授業科目の学修成果の評価を以下の通り設定し、厳格かつ適正に実施している。 1 授業科目の成績評価は、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 2 各科目の成績評価は、100 点法により 40 点以上を合格とする。 3 出席時数が本校規定時数の 3 分の 2（保育実習は 5 分の 4）以上であること。
卒業・進級の認定基準
（概要） 教育理念に基づき、学科に応じたディプロマ・ポリシーを定めホームページで公表している。卒業の要件は学則等で明示し、修業年限以上在学した者について、職員会議を経て、すべての教科課程の履修が認められた者について校長が卒業を認定する。卒業認定は、原則として卒業する学年末に行う。
学修支援等
（概要） 1 クラスに対し担任＋副担任の 2 人体制で担当教員を配置。学生との面談を定期的に行い、個別にフォローしている。また、必要に応じて保護者面談や三者面談等を実施し、保護者と連携した学生指導に努めている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34 人 (100%)	1 人 (2.9%)	32 人 (94.2%)	1 人 (2.9%)

(主な就職、業界等) 保育園、幼稚園等、認定こども園 等
(就職指導内容) 担任、進路・学生指導の担当教員とキャリア支援室の担当者が連携し、職場見学や就職ガイダンス参加のサポート、面接指導、応募書類の作成方法等を中心に進路指導を行う。
(主な学修成果（資格・検定等）) 保育士、幼稚園教諭二種、社会福祉主事任用資格、幼児体育指導者、実務者研修
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
57 人	4 人	7.0%
(中途退学の主な理由) ・進路変更 ・一身上		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者面談等		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	菓業科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	76 単位	25 単位	18 単位	33 単位	0 単位	0 単位
			76 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		23 人	0 人	3 人	10 人	13 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学則で定めたカリキュラムに基づき、教務・授業担当者が、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等を定めた授業計画書（シラバス）を作成し、教務主任が取りまとめて管理する。 授業計画書（シラバス）は、年度初めに、ホームページで公表・開示する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各授業科目の学修成果の評価を以下の通り設定し、厳格かつ適正に実施している。 1 授業科目の成績評価は、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 2 各科目の成績評価は、100 点法により 40 点以上を合格とする。 3 出席時数が本校規定時数の 3 分の 2 以上であること。
卒業・進級の認定基準
（概要） 教育理念に基づき、学科に応じたディプロマ・ポリシーを定めホームページで公表している。卒業の要件は学則等で明示し、修業年限以上在学した者について、職員会議を経て、すべての教科課程の履修が認められた者について校長が卒業を認定する。卒業認定は、原則として卒業する学年末に行う。
学修支援等
（概要） 1 クラスに対し担任＋副担任の 2 人体制で担当教員を配置。学生との面談を定期的に行い、個別にフォローしている。また、必要に応じて保護者面談や三者面談等を実施し、保護者と連携した学生指導に努めている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)	13 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)

(主な就職、業界等) ドラッグストア 等
(就職指導内容) 担任、進路・学生指導の担当教員とキャリア支援室の担当者が連携し、職場見学や就職ガイダンス参加のサポート、面接指導、応募書類の作成方法等を中心に進路指導を行う。
(主な学修成果（資格・検定等）) 登録販売者、調剤報酬事務専門士、医療事務等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26 人	1 人	3.9%
(中途退学の主な理由) ・一身上		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者面談等		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
介護福祉科	110,000 円	600,000 円	170,000 円	
こどもマイスター養成科	110,000 円	600,000 円	70,000 円	
薬業科	110,000 円	600,000 円	160,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kitakita.ac.jp/iryo/joho		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
・評価項目は、教育理念、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の募集と受け入れ、財務、法令等の遵守、社会貢献としている。 ・学校関係者評価委員会は、自己評価の結果について評価することを基本として評価し、評価結果を校長に提言する。 ・委員会は、次に掲げる関係団体等の中から3名を選任し組織する。 (1) 学校の専門分野における業界関係者（就職先企業、実習先、業界団体等） (2) 卒業生 (3) 保護者 (4) 各校と接続がある学校関係者（高等学校等） (5) 学校運営に関する専門家（学校マネジメント、財務等の専門家） (6) 地域の地方公共団体等の関係者 ・学校関係者評価委員会で提言された事項は、ホームページで公開する。 ・委員会で提言された事項は職員会議により校長の指示のもと改善方策を検討し、次年度の事業計画及びカリキュラムとして活用する。 ・委員会は年2回（1月・8月）開催する。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
社会福祉法人千晶会	2025. 4. 1～2027. 3. 31	企業等委員
合同会社オンリーライフ	2025. 4. 1～2027. 3. 31	企業等委員
社会福祉法人松実会	2025. 4. 1～2027. 3. 31	企業等委員
元岩手大学講師	2026. 4. 1～2027. 3. 31	専門家
特定非営利法人明成会	2025. 4. 1～2027. 3. 31	卒業生

株式会社村源	2025. 4. 1～2027. 3. 31	企業等委員
有限会社キリン薬局	2025. 4. 1～2027. 3. 31	企業等委員
岩手県産業教育振興会	2025. 4. 1～2027. 3. 31	地方公共団体等の 関係者
社会福祉法人睦会	2025. 4. 1～2027. 3. 31	企業等委員
社会福祉法人一誠会	2025. 4. 1～2027. 3. 31	企業等委員
岩手県保育協議会	2025. 4. 1～2027. 3. 31	地方公共団体等の 関係者
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kitakita.ac.jp/iryo/joho		
(備考)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kitakita.ac.jp/iryo/joho
--